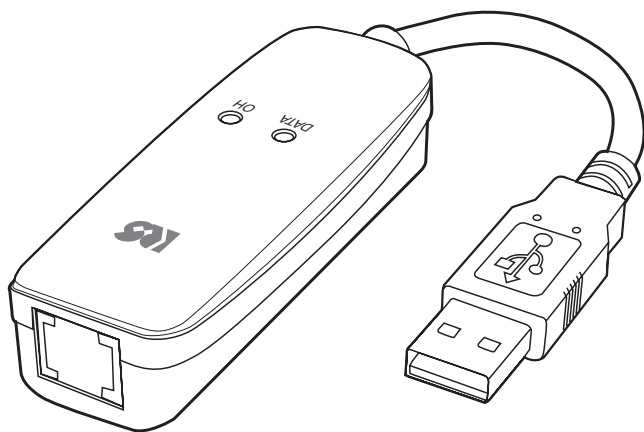


USB 56K DATA/FAX MODEM

# REX-USB56

## ユーザーズマニュアル

2007年10月 第1.0版



本製品を正しく安全にお使いいただくため  
ご使用前に必ず本書をよくお読みください。

ラトックシステム株式会社

 **RATOC Systems, Inc.**

〈ご注意〉

1. 本書の著作権はラトックシステム株式会社にあります。
  2. 本書の内容につきましては万全を期して作成しておりますが、万一不審な点や誤りなどお気づきになりましたらご連絡をお願い申し上げます。
  3. 本書の運用により生じた結果の影響については、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
  4. 本書の一部または全部を無断で使用・複製することはできません。
  5. 本書の内容は、将来予告なく変更する場合があります。
- “REX”は株式会社リコーが商標権を所有しておりますが、弊社はその使用許諾契約により本商標の使用が認められています。
  - Windowsは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
  - その他本書に記載されている商品名/社名などは、各社の商標または登録商標です。なお本書では、™、®マークは明記しておりません。

● 安全にご使用いただくために	2
<b>1</b> はじめに	3
-1. 動作環境	3
-2. 接続できる通信回線	3
-3. 内容物の確認	3
-4. 各部の名称	3
-5. ATコマンド・Sレジスタ・リザルトコードについて	4
-6. 使用上の注意	4
<b>2</b> セットアップ	5
-1. 本製品が使えるようになるまでの手順	5
-2. Windows Vistaの場合	6
-3. Windows XPの場合	11
-4. Windows 2000の場合	15
<b>3</b> ドライバのアンインストール	19
-1. Windows Vistaの場合	19
-2. Windows XPの場合	19
-3. Windows 2000の場合	19
<b>4</b> ドラブルシューティング	20
-1. パルスで発信できない場合	20
-2. ATコマンドが正常に返答されない場合	21
-3. その他	21
<b>5</b> お問い合わせ・ユーザ登録	22
-1. 本製品に関するお問い合わせ	22
-2. ユーザ登録	22
-3. 修理について	23
<b>6</b> 一般仕様	24
● REX-USB56 質問用紙	

## 安全にご使用いただくために

本製品は安全に充分配慮して設計を行っていますが、誤った使い方をすると火災や感電などの事故につながり大変危険です。ご使用の際は、警告/注意事項を必ず守ってください。

### 表示について

この取扱説明書は、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



**警告**

この表示を無視して誤った取扱いをすると、火災や感電などにより、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して誤った取扱いをすると、感電やその他の事故により、人が負傷または物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。



**警告**

- 製品の分解や改造等は、絶対に行わないでください。
- 無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重い物を載せることは行わないでください。
- 製品が水・薬品・油等の液体によって濡れた場合、ショートによる火災や感電の恐れがあるため、使用しないでください。



**注意**

- 本製品は電子機器ですので、静電気を与えないでください。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近く、モーターなどのノイズが発生する機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- 高温多湿の場所、温度差の激しい場所、チリやほこりの多い場所、振動や衝撃の加わる場所、スピーカ等の磁気を帯びた物の近くで保管、使用しないでください。
- 煙が出たり異臭がする場合は、直ちにパソコンや周辺機器の電源を切り、電源ケーブルもコンセントから抜いてください。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故/火災事故/その他の障害が発生した場合、いかなる責任も負いかねます。
- 万一の事態に備えて、本製品をご使用になる前にパソコンのハードディスクや本製品に使用するハードディスク内に保存されているデータやプログラムのバックアップをおこなうことを推奨します。ハードディスクが破損したことによる損失、逸失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。
- 取り付け時、鋭い部分で手を切らないよう、充分注意して作業をおこなってください。
- 配線を誤ったことによる損失、逸失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。

#### 【電波障害自主規制について】

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCC I)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

# 1

## はじめに

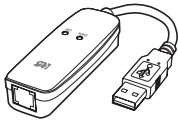
この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

本書は本製品の導入ならびに運用方法を説明したマニュアルです。正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず本書をよくお読みください。また、お読みになった後も本書は大切に保管してください。

### 1-1. 内容物の確認

パッケージの中に下記の物がすべて揃っているかご確認ください。

万一不足がありましたら、お手数ですが弊社サポートセンターまたは販売店までご連絡ください。



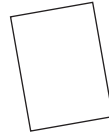
● REX-USB56本体



● モジュラーケーブル



● ソフトウェア  
CD-ROM



● セットアップ  
ガイド



● 保証書

※ユーザーズマニュアルは電子データ(PDF形式)でCD-ROMに収録

### 1-2. 動作環境

◆ 対応 OS : Windows Vista/XP/2000 ※Vista/XPは、64ビット版にも対応。

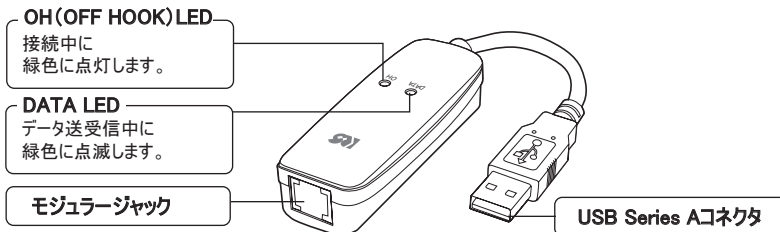
◆ 対応機種 : USBポートを装備したWindows PC ※Pentium 233MHz以上を推奨

### 1-3. 接続できる通信回線

◆ アナログ一般公衆回線/ISDNアナログポート

※接続できない回線・・・アナログ携帯電話/PHS/デジタル携帯電話/ビジネスフォン/ISDN

### 1-4. 各部の名称



## **7** -5. ATコマンド・Sレジスタ・リザルトコードについて

ATコマンドは米国Hayes社が開発したモデム制御コマンドです。REX-USB56への制御は、このATコマンドによっておこないます。

このマニュアルでは、ATコマンド・Sレジスタ・リザルトコードを記載しておりません。これは通常使用する場合、特に意識する必要が無いためです。

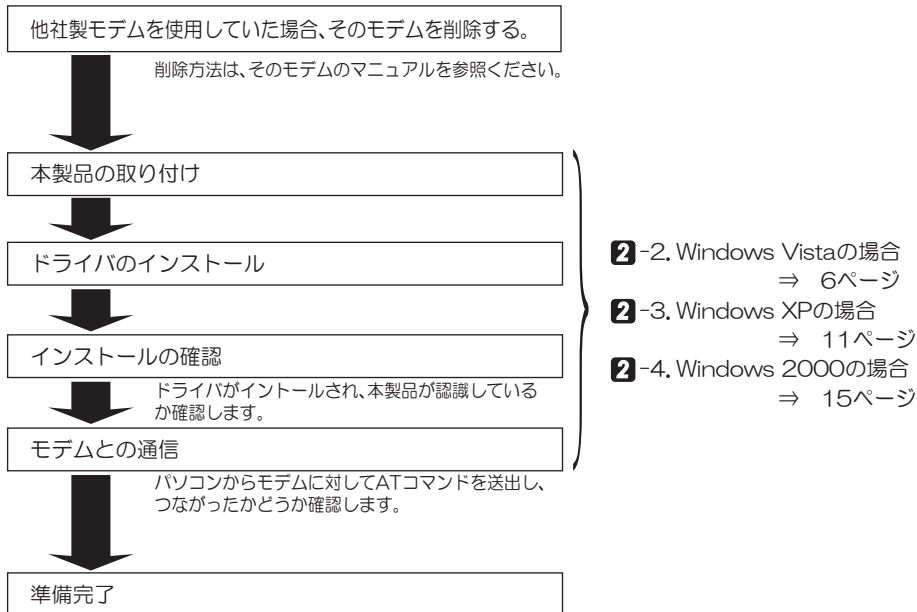
もし、必要な場合は、ATコマンド・Sレジスタ・リザルトコード一覧を製品添付CD-ROM内のATCOMMAND.TXTファイルにて用意しておりますので、参照ください。

## **7** -6. 使用上の注意

- Class2のみ対応のFAXソフトは使用できません。
- 本製品はNTT加入回線用に設計されており、ボタン電話・ビジネスフォン・ホームテレフォン・家庭用キーテレフォン・PBX(構内交換機)等に接続する場合は装置メーカーや保守会社にお問い合わせください。
- 本製品を同時に複数使用できません。
- +48V給電のないターミナルアダプタでは利用できません。ターミナルアダプタの仕様については各メーカーにお問い合わせください。
- 環境(回線品質・回線状況・接続先の通信規格)によってはDCE速度が56Kbpsで接続できない場合があります。
- ITU-TV.92で通信するにはプロバイダ側がV.92に対応している必要があります。
- Wake Up on Ringには対応していません。
- 製品改良のため、将来予告なく外觀または仕様の一部を変更する場合があります。
- 本製品は日本国内仕様となっており、海外での保守及びサポートは行っておりません。
- 本製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については各地方自治体にお問い合わせください。
- 本製品の保証や修理に関しましては、添付の保証書に内容を明記しております。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。

## 2 セットアップ

### 2-1. 本製品が使えるようになるまでの手順

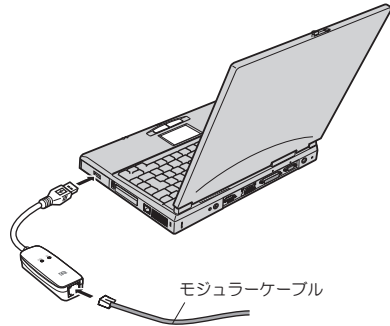


## 2 -2. Windows Vistaの場合

### 本製品の取り付け

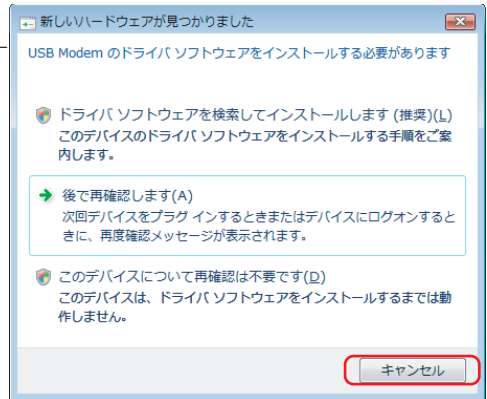
1. パソコンの電源を入れ、USBポートに本製品を接続してください。

※モジュラーケーブルは、実際にダイヤルするまでに接続してください。



### ドライバのインストール

2. 初めて認識すると次の画面が表示されますが、ドライバのインストールは製品添付CD-ROMよりおこないますので、【キャンセル】をクリックしてください。



3. 製品添付のCD-ROMをパソコンのCDドライブに挿入してください。



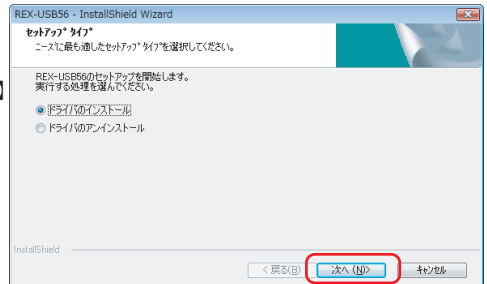
ユーザーアカウント制御のメッセージが表示された場合、【続行】をクリック。



4. 自動的にセットアッププログラムが起動します。

“ドライバのインストール”を選択後、【次へ】をクリックしてください。

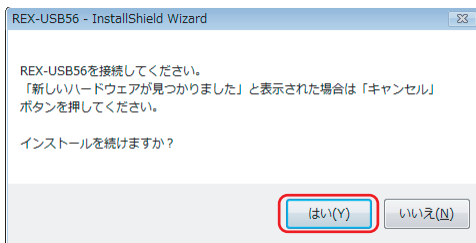
※自動的に起動しない場合は、【コンピュータ】→【CDドライブ】を開き、【SetupREXUSB56exe】をダブルクリックしてください。



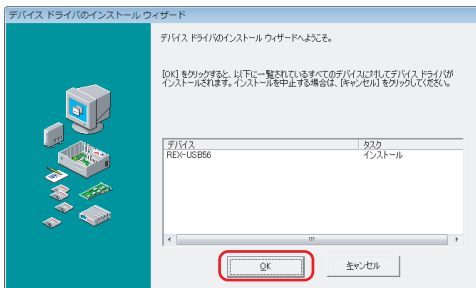


5. 本製品の接続を促すメッセージが表示されますが、手順1.2.で接続を終えていますので、【はい】をクリックしてください。

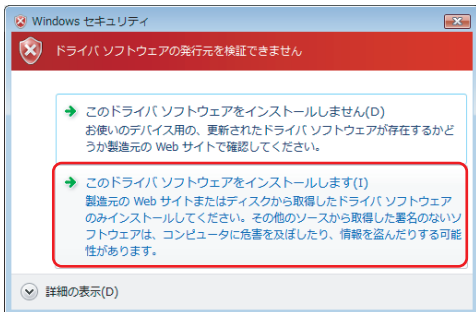
※インストールを続けるには本製品の接続が必要です。



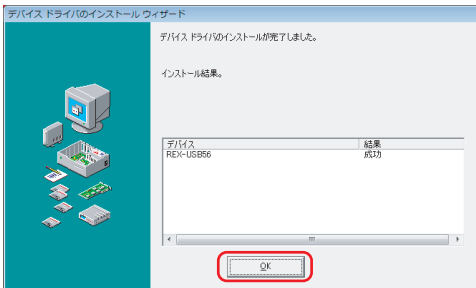
6. “デバイス ドライバのインストール ウィザード”が開始されます。  
【OK】をクリックしてください。



7. 次のメッセージが表示されますが、“このドライバソフトウェアをインストールします”をクリックしてください。



8. “デバイス ドライバのインストールが完了しました。”の画面が表示されます。  
【OK】をクリックしてください。

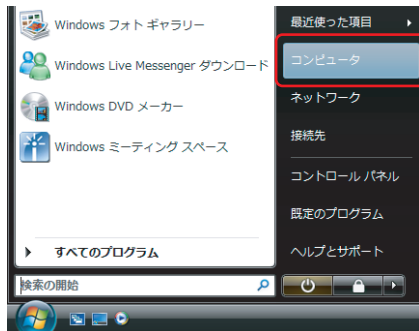


## インストールの確認とモデムとの通信

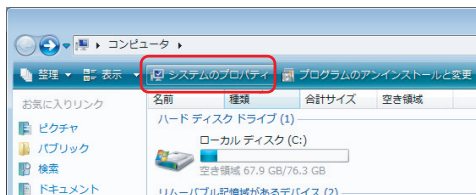
9. 本製品とドライバが正常にセットアップされたことを確認します。  
「デバイスマネージャ」を開いてください。

【スタート】→【コンピュータ】を開いてください。


※以下、「デバイスマネージャ」の開き方(一例)を画面遷移と共に説明します。

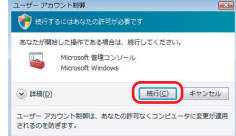


10. コマンドバーから【システムのプロパティ】をクリックしてください。



11. タスクから【デバイスマネージャ】をクリックしてください。

 【ユーザーアカウント制御】のメッセージが表示された場合は、【続行】をクリック。

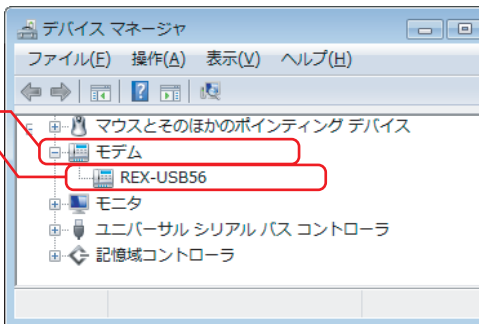


12. 【デバイスマネージャ】の画面から、次の点を確認してください。

- ①【モデム】をダブルクリック  
②【REX-USB56】が表示されていれば、ドライバは正常にインストールされています。



表示されていない場合は、ドライバが正常にインストールされていません。19ページ③「ドライバのアンインストール」をおこない、本製品をUSBポートに確実に取り付け、再インストールをおこなってください。

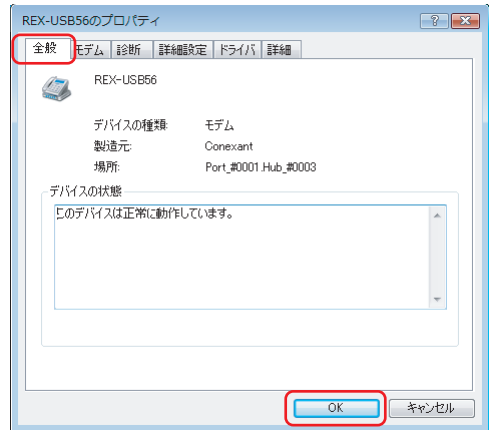


13. 【REX-USB56】をダブルクリックし、【REX-USB56のプロパティ】を開きます。

## 14. 【全般】タブ

“このデバイスは正常に動作しています”と表示されていることを確認してください。

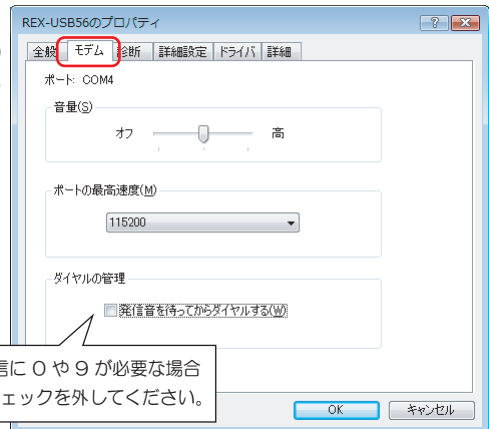
次に、【モデム】タブをクリックしてください。



## 15. 【モデム】タブ

外線発信をおこなう場合や、はじめに0や9を回す必要のある構内回線を使用している場合は、“発信音を待ってからダイヤルする”のチェックを外してください。

次に、【診断】タブをクリックしてください。

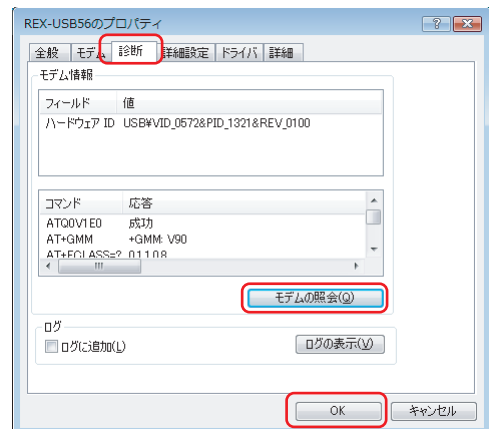


## 16. 【診断】タブ

【モデムの照会】をクリックし、右記の画面に変わることを確認してください。【OK】をクリックして処理を終了します。



右記画面に変わらない場合は、21ページ 4-2. を参照ください。



## 17. コントロールパネルの【電話とモデムのオプション】アイコンを選択します。



※【電話とモデムのオプション】アイコンが確認できない場合は“クラシック表示”を選択してください。

右記の画面が起動した場合は、“市外局番／エリアコード”を入力し【OK】をクリックしてください。

“06”は例です。  
市外局番／エリアコードは、お客様がご使用になる場所の番号を入力してください。

所在地情報

電話またはモデムによる接続を行う前に、現在の所在地情報を設定する必要があります。

国名/地域名(N)

日本

市外局番/エリアコード(O)

06

電話会社の識別番号(指定する必要がある場合)(B)

外線発信番号(O)

ダイヤル方法

トーン(D)  パルス(E)

OK キャンセル

## 18. 次の画面で【編集】をクリックします。

電話とモデムのオプション

ダイヤル情報 モデム 詳細設定

下の一覧には指定した所在地が表示されています。ダイヤル元の所在地を選択してください。

所在地(N)

所在地	市外局番
所在地情報	06

新規(N) 編集(E) 削除(D)

OK キャンセル 適用(A)

## 19. 次の画面で外線発信番号やダイヤル方式の設定をしてください。

ダイヤル方法

- ・トーン=プッシュホン回線
- ・パルス=ダイヤル回線

内容を確認して【OK】をクリックしてください。



外線発信に 0 や 9 が必要な場合には、必ず外線発信番号に数字と“;”を入れてください。  
例: 0;

所在地の編集

全般 市外局番の規則 通話カード

所在地(N): 所在地情報

ダイヤル元の所在地を指定します。

国/地域(B)

日本

市外局番(O)

06

ダイヤル情報

この所在地からダイヤルするとき(適用する規則)

市内通話の場合の外線発信番号(L):

市外通話の場合の外線発信番号(D):

市外通話に使用する電話会社の識別番号(E):

国際通話に使用する電話会社の識別番号(O):

キャッチホン機能を解除するための番号(W):

ダイヤル方法

トーン(D)  パルス(E)

OK キャンセル 適用(A)

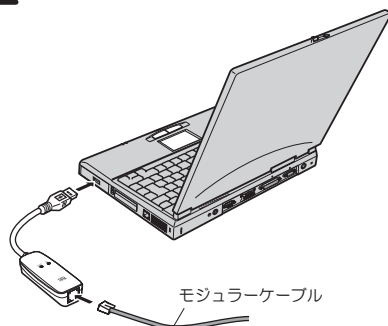
## 20. モジュージャックにモジュラーケーブルが接続されていることを確認後、お客様の接続環境に応じて設定を行ってください。

## 2 -3. Windows XPの場合

### 本製品の取り付け

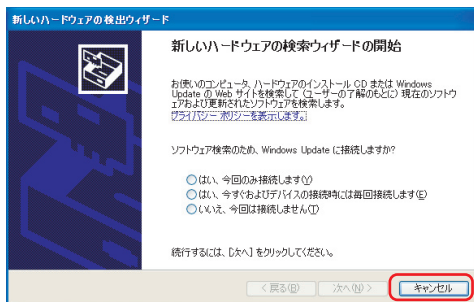
1. パソコンの電源を入れ、USBポートに本製品を接続してください。

※モジュラーケーブルは、実際にダイヤルするまでに接続してください。



### ドライバのインストール

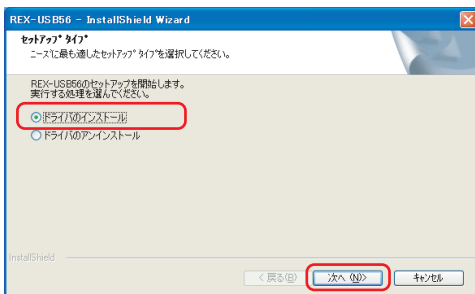
2. 初めて認識すると次の画面が表示されますが、ドライバのインストールは製品添付CD-ROMよりおこないますので、【キャンセル】をクリックしてください。



3. 製品添付のCD-ROMをパソコンのCDドライブに挿入してください。自動的にセットアッププログラムが起動します。

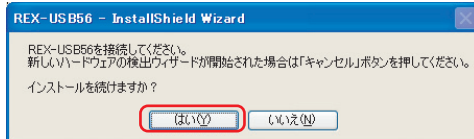
“ドライバのインストール”を選択後、【次へ】をクリックしてください。

※自動的に起動しない場合は、【マイコンピュータ】→【CDドライブ】を開き、【SetupREXUSB56exe】をダブルクリックしてください。

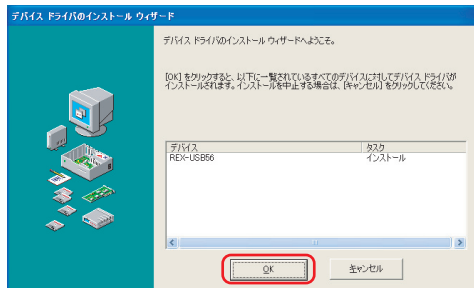


4. 本製品を接続を促すメッセージが表示されますが、手順1.2.で接続を終えていますので、【はい】をクリックしてください。

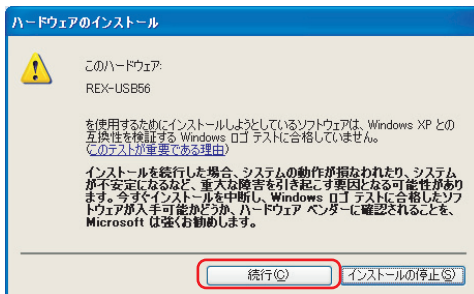
※インストールを続けるには本製品の接続が必要です。



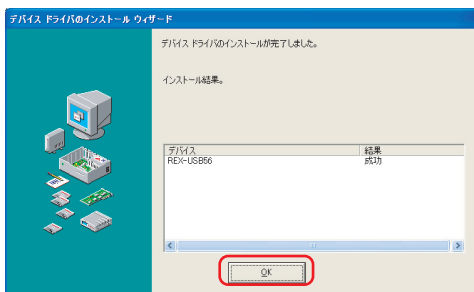
5. “デバイス ドライバのインストール ウィザード”が開始されます。【OK】をクリックしてください。



6. 次のメッセージが表示されますが、【続行】をクリックしてください。



7. “デバイス ドライバのインストールが完了しました。”の画面が表示されます。【OK】をクリックしてください。



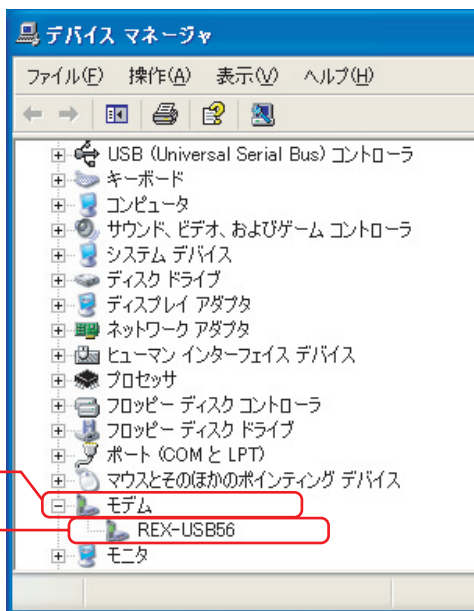
### インストールの確認とモデムとの通信

8. 本製品とドライバが正常にセットアップされたことを確認します。次の手順で“デバイスマネージャ”を開いてください。

【スタート】→【コントロールパネル】(→【パフォーマンスとメンテナンス】)→【システム】をダブルクリック→【ハードウェア】タブをクリック→【デバイスマネージャ】ボタンをクリック

9. 【デバイスマネージャ】の画面から、次の点を確認してください。

- ①【モデム】をダブルクリック
- ②【REX-USB56】が表示されていれば、ドライバは正常にインストールされています。



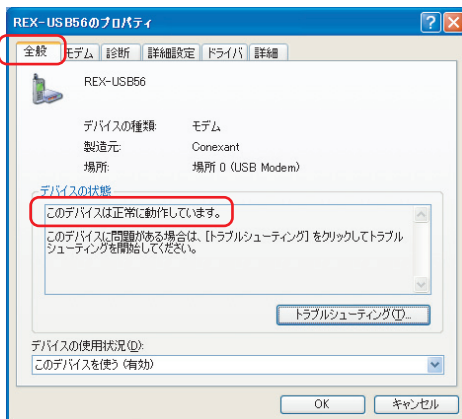
表示されていない場合は、ドライバが正常にインストールされていません。19ページ ③「ドライバのアンインストール」後、本製品をUSBポートに確実に取り付け、再インストールをおこなってください。

10. 【REX-USB56】をダブルクリックし、【REX-USB56のプロパティ】を開きます。

## 11.【全般】タブ

“このデバイスは正常に動作していません”と表示されていることを確認してください。

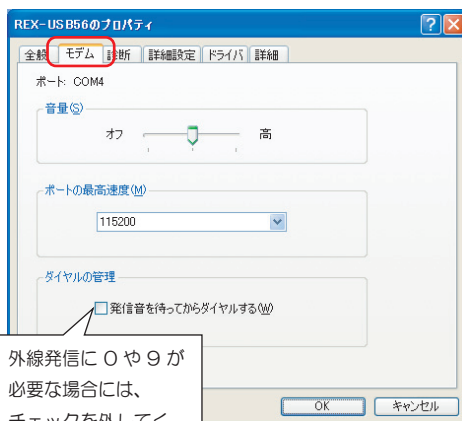
次に、【モデム】タブをクリックしてください。



## 12.【モデム】タブ

外線発信をおこなう場合や、はじめに0や9を回す必要のある構内回線を使用している場合は、“発信音を待ってからダイヤルする”のチェックを外してください。

次に、【診断】タブをクリックしてください。

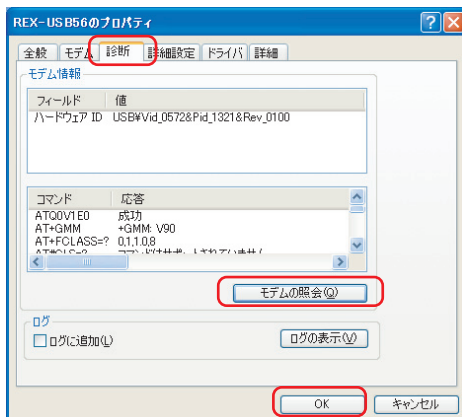


## 13.【診断】タブ

【モデムの照会】をクリックし、右記の画面に変わることを確認してください。【OK】をクリックして処理を終了します。



右記画面に変わらない場合は、  
21ページ 4-2. を参照ください。

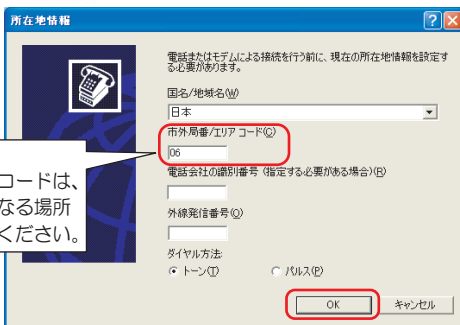


13. コントロールパネルを開き、【電話とモデムのオプション】アイコンを選択します。

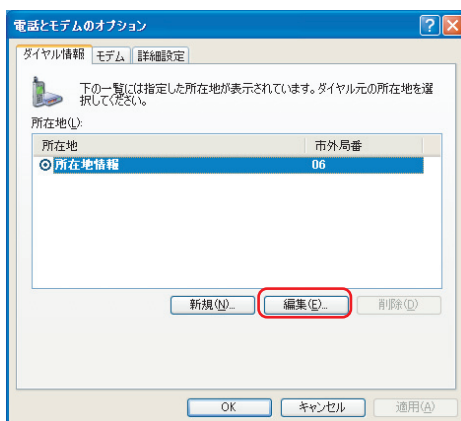


上記の画面が起動した場合は、“市外局番／エリアコード”を入力し【OK】をクリックしてください。

“06”は例です。  
市外局番／エリアコードは、  
お客様がご使用になる場所  
の番号を入力してください。



14. 次の画面で【編集】をクリックします。




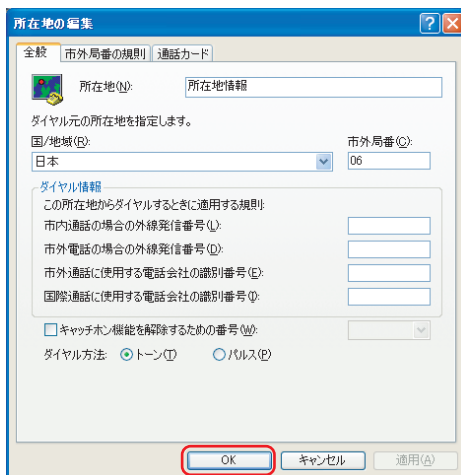
15. 次の画面で外線発信番号やダイヤル方式の設定をしてください。

ダイヤル方法

- ・トーンニッシュホン回線
- ・パルスニダイヤル回線

内容を確認して【OK】をクリックしてくだ

 外線発信に 0 や 9 が必要な場合  
には、必ず外線発信番号に数字と  
“,”を入れてください。  
例:0,



16. モジュージャックにモジュラーケーブルが接続されていることを確認後、お客様の接続環境に応じて設定を行ってください。

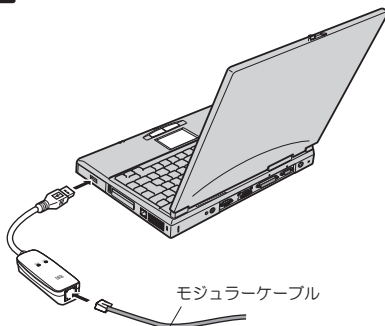


## 2-4. Windows 2000の場合

### 本製品の取り付け

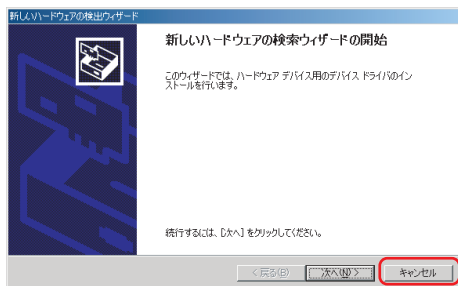
1. パソコンの電源を入れ、USBポートに本製品を接続してください。

※モジュラーケーブルは、実際にダイヤルするまでに接続してください。



### ドライバのインストール

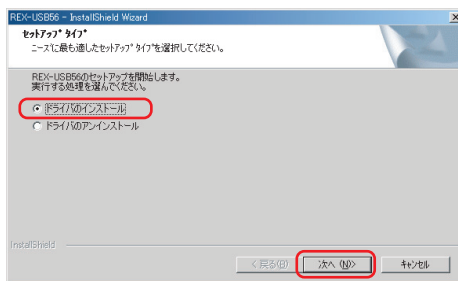
2. 初めて認識すると次の画面が表示されますが、ドライバのインストールは製品添付CD-ROMよりおこないますので、【キャンセル】をクリックしてください。



3. 製品添付のCD-ROMをパソコンのCDドライブに挿入してください。自動的にセットアッププログラムが起動します。

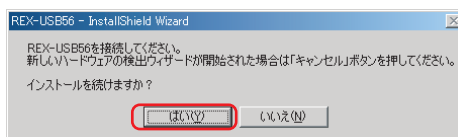
“ドライバのインストール”を選択後、【次へ】をクリックしてください。

※自動的に起動しない場合は、【マイコンピュータ】→【CDドライブ】を開き、【SetupREXUSB56.exe】をダブルクリックしてください。

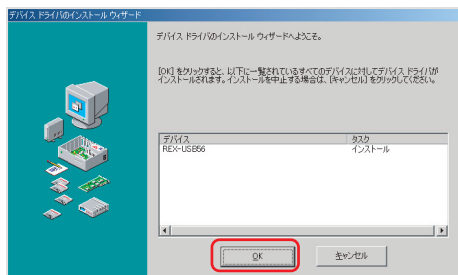


4. 本製品を接続を促すメッセージが表示されますが、手順1.2.で接続を終えていますので、【はい】をクリックしてください。

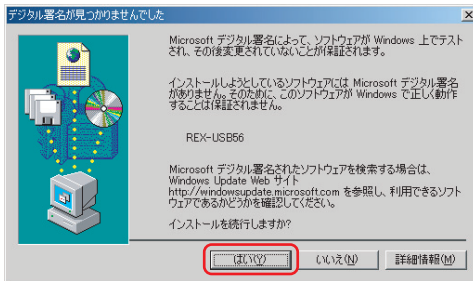
※インストールを続けるには本製品の接続が必要です。



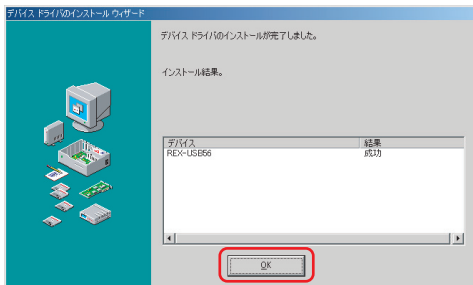
5. “デバイス ドライバのインストール ウィザード”が開始されます。【OK】をクリックしてください。



6. 次のメッセージが表示されますが、【続行】をクリックしてください。



7. “デバイス ドライバのインストールが完了しました。”の画面が表示されます。  
【OK】をクリックしてください。



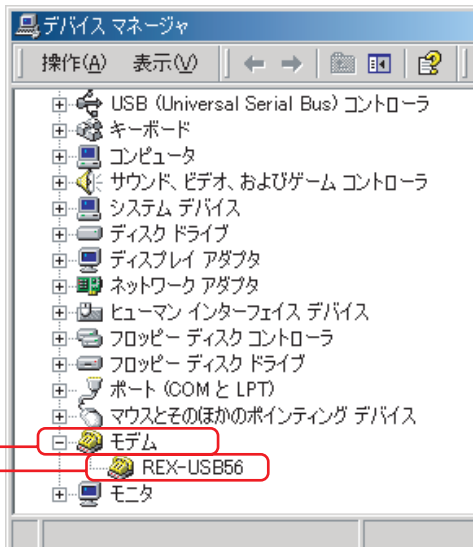
### インストールの確認とモデムとの通信

8. 本製品とドライバが正常にセットアップされたことを確認します。  
次の手順で“デバイスマネージャ”を開いてください。

「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」をダブルクリック→「ハードウェア」タブをクリック→「デバイスマネージャ」をクリック

9. 【デバイスマネージャ】の画面から、次の点を確認してください。

- ①【モデム】をダブルクリック
- ②【REX-USB56】が表示されていれば、ドライバは正常にインストールされています。



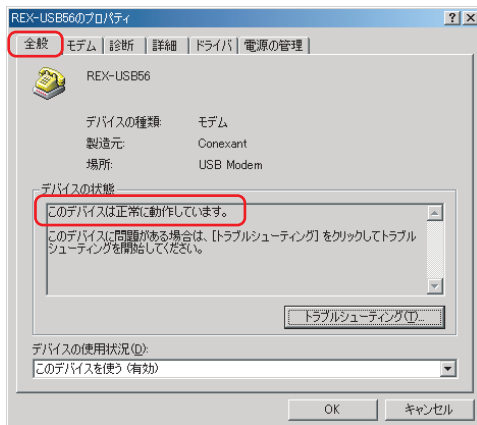
表示されていない場合は、ドライバが正常にインストールされていません。19ページ 3「ドライバのアンインストール」後、本製品をUSBポートに確実に取り付け、再インストールをおこなってください。

10. 【REX-USB56】をダブルクリックし、【REX-USB56のプロパティ】を開きます。

#### 4.【全般】タブ

“このデバイスは正常に動作しています”と表示されていることを確認してください。

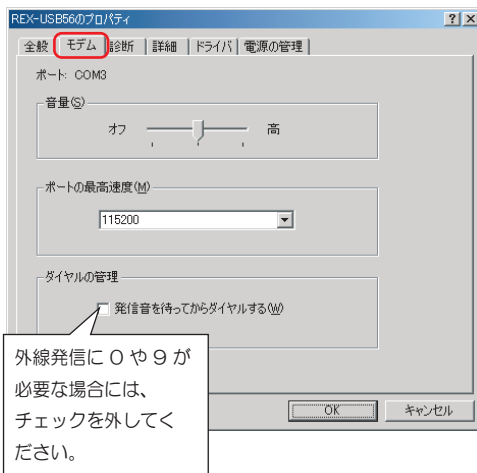
次に、【モデム】タブをクリックしてください。



#### 5.【モデム】タブ

外線発信をおこなう場合や、はじめに0や9を回す必要のある構内回線を使用している場合は、“発信音を待ってからダイヤルする”のチェックを外してください。

次に、【診断】タブをクリックしてください。

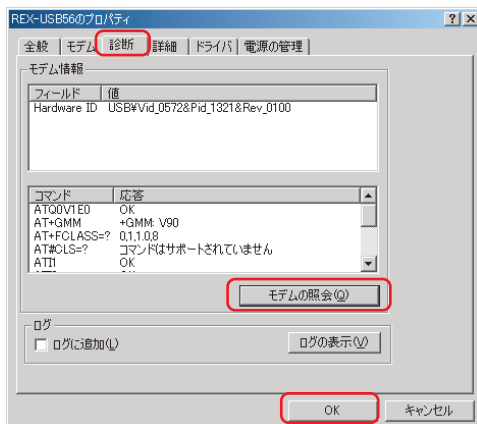


#### 6.【診断】タブ

【**モデムの照会**】をクリックし、右記の画面に変わることを確認してください。【OK】をクリックして処理を終了します。



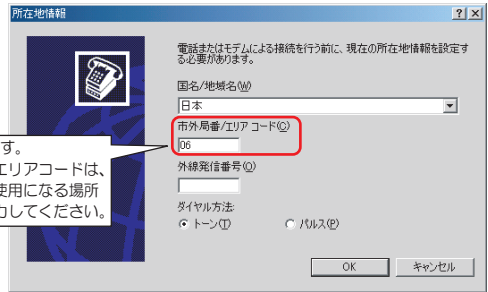
右記画面に変わらない場合は、  
21ページ 4-2. を参照ください。



7. コントロールパネルの【電話とモデムのオプション】アイコンを選択します。

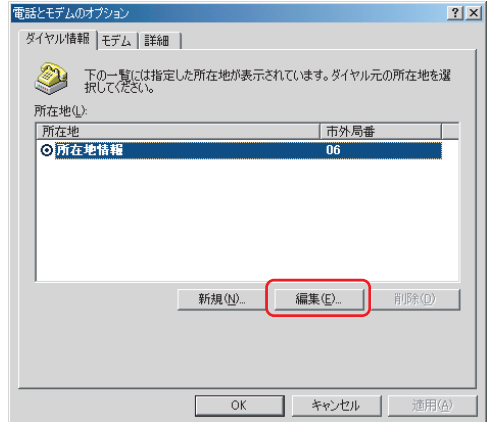


右記の画面が起動した場合は、“市外局番／エリアコード”を入力し【OK】をクリックしてください。



“06”は例です。  
市外局番／エリアコードは、お客様がご使用になる場所の番号を入力してください。

8. 次の画面で【編集】をクリックします。



9. 次の画面で外線発信番号やダイヤル方式の設定をしてください。

ダイヤル方法

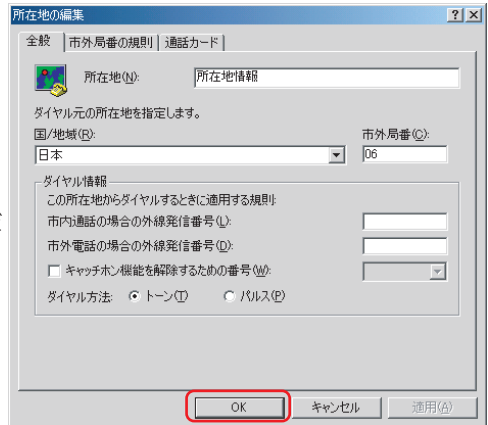
- ・トーン=プッシュホン回線
- ・パルス=ダイヤル回線

内容を確認して【OK】をクリックしてください。



外線発信に 0 や 9 が必要な場合には、必ず外線発信番号に数字と “;” を入れてください。

例: 0,



10. モジュージャックにモジュラーケーブルが接続されていることを確認後、お客様の接続環境に依じて設定を行ってください。

# 3 ドライバのアンインストール

登録したデバイスを削除する場合のみ行ってください。

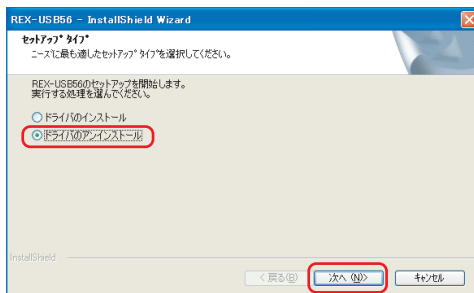
※画面はWindows Vistaの場合です。

1. 本製品をUSBポートに接続します。
2. 製品添付のCD-ROMをパソコンのCDドライブに挿入してください。

3. 自動的にセットアッププログラムが起動します。

“ドライバのアンストール”を選択後、  
【次へ】をクリックしてください。

※自動的に起動しない場合は、【マイコンピュータ】→【CDドライブ】を開き、  
【SetupREXUSB56.exe】をダブルクリックしてください。

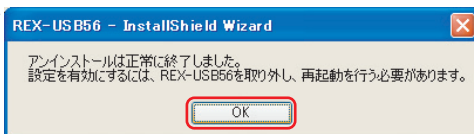


4. 本製品がUSBポートに接続されていることを確認し、【はい】をクリックしてください。

※アンインストールを続行するには、本製品の接続が必要です。



5. “アンインストールは正常に終了しました。”のメッセージが表示されます。【OK】をクリックし、パソコンの再起動を手動でおこなってください。



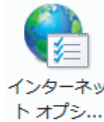
※“新しいハードウェアが見つかりました”の画面が表示された場合は【キャンセル】をクリックしてください。

# 4 トラブルシューティング

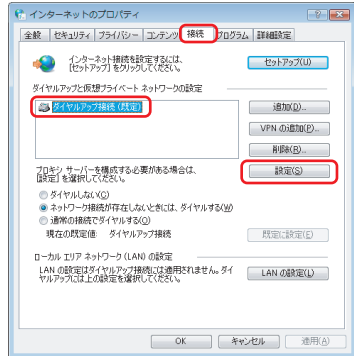
## 4-1. パルスで発信できない場合

【電話とモデムのオプション】のダイヤル設定にて「パルス」を選択しているにも関わらず、ダイヤルアップ接続でトーン音がして接続できない場合、以下の設定を行ってください。(画面はVistaの画面です)

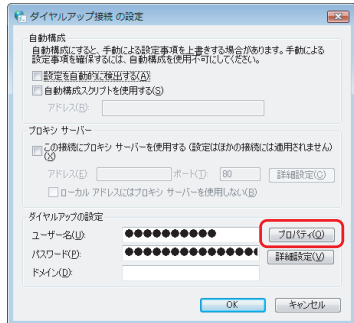
1. コントロールパネルの【インターネットオプション】を開きます。  
※Vistaの場合は「クラシック表示」に設定してください。



2. 【インターネットのプロパティ】画面の【接続】タブをクリックします。

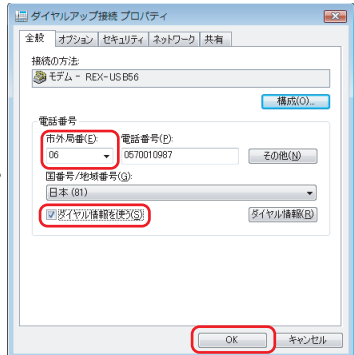


3. 「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」から設定する名称(右記画面の場合「ダイヤルアップ接続」)を選択し、【設定】をクリックします。



4. 「xxxの設定(xxxは選択した名称)」画面が表示されます。【プロパティ】をクリックします。

5. 「xxxプロパティ(xxxは選択した名称)」画面が表示されます。「電話番号」の「ダイヤル情報を使う」にチェックを入れ、市外局番を入力してください。



6. 各画面にて【OK】ボタンをクリックし、終了します。接続可能かご確認ください。

## **4**-2. ATコマンドが正常に返答されない場合

ATコマンドが正常に返答されない場合、“ポートが開かれていません”などとメッセージが表示される場合、以下の設定を行っても同様かご確認ください。

- 他にソフトウェアが起動している(特にモデム(COMポート)を使用する)場合、そのソフトウェアを終了します。
- コントロールパネルの【電話とモデムのオプション】画面の【モデム】画面にて、本製品以外のモデムが登録されている場合、その他のモデムを削除します。(あるいはすべてのデバイスを削除し、パソコンを再起動して、本製品のみを登録します)
- 3** **ドライバのアンインストール** を参照にドライバを削除し、再インストールを行ってください。そのとき、可能であればPCIスロットを変更してください。
- 環境(回線品質、回線状況)によっては、DCE速度が56Kbpsで接続できないことがあります。
- パソコン本体のシリアルポートを使用不可(Disable)に設定してください。(可能な場合のみ。設定方法はパソコンのマニュアルを参照してください。)

## **4**-3.その他

### ●通信速度について

モデムに通信機器(電話機、FAX)をつけていた場合や、電話線を分岐器で分配した場合は通信速度が遅くなる場合があります。

### ●ISDNターミナルアダプタのアナログポートに接続する場合

ターミナルアダプタには、一つのアナログポートに1台のアナログ 機器しか接続できないものがあります。

### ●FAXソフトを利用して送受信する場合

FAXソフトをインストール後、モデムを組み込むと正常に動作しない場合があります。一旦FAXソフトをアンインストール後、再度インストールしてご確認ください。

FAXソフトの初期値は“受信しない”設定になっている場合があります。

送信可能にもかかわらず受信出来ない場合、一度設定を再確認してください。

### ●ダイヤルアップ接続について

ダイヤルアップ接続で接続時正常に接続できない場合、他のソフトウェア(ターミナルソフトやFAXソフトなど)で通信をご確認ください。

もし通信可能であれば、ダイヤルアップ接続側の問題である可能性があります。

一度新規で作成し直しても同様かご確認ください。

# 5

## お問い合わせ・ユーザ登録

### 5-1. 本製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記弊社サポートセンターまでお問い合わせください。お問い合わせの際には、巻末の「質問用紙」に必要事項をご記入のうえ、下記FAX番号までお送りください。折り返し、電話またはFAX、メールにて回答いたします。

なお、ご質問に対する回答は下記営業時間内とさせていただきますのでご了承ください。また、ご質問の内容によりましては弊社にてテスト/チェック等を行う関係上、回答までに時間を要する場合がございますので、予めご了承くださいますようお願い申し上げます。

#### ラトックシステム株式会社 サポートセンター

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル  
TEL 大阪:06-6633-6766 東京:03-5207-6420  
FAX:06-6633-3553 (FAXは24時間受付)

営業時間 月曜～金曜 10:00～13:00、14:00～17:00  
土曜・日曜・祝日及び弊社指定の休日を除く

ホームページで最新の情報をお届けしております。  
またホームページ上からのご質問・お問い合わせも可能です。  
<http://www.ratocsystems.com/>

### 5-2. ユーザ登録

ユーザ登録は、下記URLより行うことができます。

オンラインユーザ登録  
<https://regist.ratocsystems.com/>



## 5 -3. 修理について

万一故障した場合は、本製品に添付の保証書記載内容に基づいて修理致します。  
故障と思われる症状が発生した場合は、まず本書を参照し、接続や設定が正しく行われているかどうかご確認ください。現象が改善されない場合は、弊社ホームページの下記アドレス「修理について」を参照し、弊社修理センター宛に製品をお送りください。  
また修理に関してご不明な点がありましたら、弊社サポートセンターまでご相談ください。

- 〈製品送付先〉 ラトックシステム株式会社 修理センター  
〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル  
TEL: 06-6633-6766
- 〈送付頂くもの〉 ・本製品の保証書の原本  
・製品  
・質問用紙（本書巻末の「質問用紙」に現象を明記してください。）
- 〈送付方法〉 宅急便等、送付の控えが残る方法でお送りください。  
弊社への修理品の送料は、送り主様にご負担ください。返送の費用は、弊社が負担いたします。  
輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。
- 〈修理費用〉 保証書に記載の保証期間・条件のもと、有償となる場合があります。  
詳細は保証書をご覧ください。

修理についてのご案内

<http://www.ratocsystems.com/services/repair/contents.html>

## 6

## 一般仕様

型番	REX-USB56	
名称	USB 56K DATA/14.4K FAX MODEM	
対応OS	Windows Vista/XP/2000 ※Vista/XPでは64ビット版にも対応	
対応機種	USBポートを装備したWindows PC ※Pentium 233MHz以上を推奨	
バスインターフェイス	USB1.1	
DTE速度	115,200bps	
接続コネクタ	【パソコン側】USB Ver.1.1準拠 【電話回線側】2線式モジュージャック	
NCU部	通信回線	アナログ公衆回線・1回線・2線式モジュラ
	NCU形式	AA (自動発着信)
	ダイヤル形式	ダイヤルパルス式 (10pps/20pps)、プッシュトーン式
	NCU制御コマンド	ATコマンド、EIA class1コマンド (EIA-578)
データ通信機能	通信方式	全二重
	同期方式	調歩同期式 (非同期)
	通信速度	56000 (受信のみ) /48000/33600/31200/28800/14400/12000/9600/ 7200/4800/2400/1200/300bps
	通信規格	K56flex、ITU-T V.92/V.90/V.34/V.32bis/V.32/V.23/V.22bis/V.21、BELL 212A/103
	エラー訂正機能	MNP 2-4、ITU-T V.42 (LAPM)
	データ圧縮機能	MNP 5、ITU-T V.42bis/V.44
FAX機能	伝送制御機能	TIA/EIA 578 Class Fax
	通信方式	半二重
	同期方式	調歩同期式 (非同期)
	通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400/1200/300bps
	通信規格	ITU-T V.17/V.29/V.27/V.21
電源電圧	+5V (USBバスパワーより供給)	
動作環境	温度0~40℃、湿度20~80% (ただし結露しないこと)	
消費電流	100mA	
外形寸法/重量	約75(L)×18(H)×25(W)mm (ケーブル/USBコネクタ部除く) /約32g	
製品内容	REX-USB56本体、モジュラケーブル (150cm)、ソフトウェアCD-ROM、セットアップガイド、保証書	
添付ソフト	ドライバソフトウェア	
保証期間	1年間	

※Class2のみ対応のFAXソフトは使用できません。

※本製品はNTT加入回線用に設計されており、ボタン電話・ビジネスフォン・ホームテレフォン・家庭用キーテレフォン・PBX(構内交換機)等に接続する場合は装置メーカーや保守会社にお問い合わせください。

※本製品を同時に複数使用できません。

※+48V給電のないターミナルアダプタでは利用できません。ターミナルアダプタの仕様については各メーカーにお問い合わせください。

※環境(回線品質・回線状況・接続先の通信規格)によってはDCE速度が56Kbpsで接続できない場合があります。

※ITU-T V.92で通信するにはプロバイダ側がV.92に対応している必要があります。

※Wake Up on Ringには対応していません。

※本製品は国内仕様となっており、海外でのサポートは行っておりません。

※製品改良のため、予告なく外觀または仕様の一部を変更することがあります。

ラトックシステム株式会社 サポートセンター宛

**FAX: 06-6633-3553**

お手数ですが、拡大コピーの上必要事項を記入して、FAXでお送りください。

氏名			
会社・学校	※法人登録の方のみ		
部署・所属	※法人登録の方のみ		
住所	〒		
TEL		FAX	
メールアドレス			
製品型番	REX-USB56	シリアル番号	
購入店名			
購入年月日			

パソコン機種	メーカー名		型番	
使用OS	[Windows] <input type="checkbox"/> Vista <input type="checkbox"/> XP <input type="checkbox"/> 2000 ※該当の方はチェック ⇒ <input type="checkbox"/> 64ビット版を使用している			
質問内容				
添付資料	<input type="checkbox"/> Windows: デバイスマネージャのシステム概要※1 <input type="checkbox"/> その他( )			

※1 デバイスマネージャのシステム概要の印刷方法

- (1) [スタート]メニューから[すべてのプログラム(Windows 2000: プログラム)] - [アクセサリ] - [システムツール] - [システム情報]を選択します。
- (2) Windows Vista/XP: [ファイル] - [エクスポート]を選択し、任意の名前のテキストファイルで保存します。  
Windows 2000: [操作] - [一覧のエクスポート]を選択し、任意の名前のテキストファイルで保存します。
- (3) 保存したテキストファイルを開き、印刷します。

提供いただいたお客様の個人情報は、サポート目的のみに使用し、他の目的には使用しません。  
弊社の個人情報取り扱いに関する詳細は、弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.ratocsystems.com/info/privacy.html>

